年間授業計画　新様式例

富士森 高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　外国語　　科目　論理表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

使用教科書：（ be Clear Logic and Expression Ⅰ (三省堂)　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝えあったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目　論理表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英文法を理解し、適切に使用し、自らの作りたい英文を作成することができる	・自らの意見を、学習した文法を用いて表現することができる ・学習した文法を活用して、会話や文章の状況を理解・推測して判断することができる	・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	英語学習の前に 【知識及び技能】 ・日本語で品詞、文の要素を理解し、英語の品詞文型理解の素地を作る 【思考力、判断力、表現力等】 ・演習を通し、日本語・日本文を見て、品詞、SVOMのいずれかがわかる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本語レベルで品詞、文の要素、	・指導事項：語順、文の要素(S,V,O,M)、自動詞、他動詞 ・教材：・ワークシート		○			○	【知識及び技能】 ・日本語で品詞、SVOMの各要素、自他動詞の違いが理解できている 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本文を見て、品詞、SVOMの各要素、自他動詞を判別できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・演習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	3
	Introduction①② 【知識及び技能】 ・それぞれの品詞の役割を理解し、文型の中での働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・演習問題を通して英文の中で、それぞれの品詞を正しく使い英文を理解、作成することができる。 ・学習した様々な文型を用いて自己紹介や周囲の事象に関する説明の中で、自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文型を理解しながら演習に取り組むことができる	・指導事項：文型 ・教材：教科書、Workbook	○	○	○		○	【知識及び技能】 文型の違いを確認し、その特徴、使い方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・英文を見て、５つの文型のうちどの文型なのかわかる。また、それぞれの文型の英文が作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・演習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	3
	Lesson1 Meeting People Lesson2 Holidays and Weekdays 【知識及び技能】 ・現在形と過去形についての基本的な意味や文法構造について理解するとともに、現在形を用いて自己紹介や周囲の事象について英語で述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習した現在形を中心に、英語を用いて自己紹介や周囲の事象に関する説明の中で、自分の意見を表現することができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢	・指導事項：現在形、過去形 ・教材：教科書、Workbook	○	○	○		○	【知識・技能】 ①現在形が現在の状況や、繰り返し起こる事象を説明するものだと理解している。 ②過去形が過去の１時点で起こった事象を説明するものだと理解している。 ③進行形が、現在や過去の１時点において進行途中の動作を表現するものだと理解している。 【思考・判断・表現】 ①現在形や過去形、その進行形を適切に用いて自己を表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson3 Making Plans 【知識及び技能】 ・未来を表す未来時制を理解するとともに、未来時制を用いて未来の事柄を表現することができる。 ・現在・過去・未来の時制の違いを理解し、それらを織り交ぜた文章を	・指導事項：未来時制・基本時制のまとめ ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等						【知識・技能】 ①未来時制が未来の事象を説明するものだと理解している。 ②基本時制それぞれの特性・違いを理解し、文章を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ①基本時制を用いて周囲の事象や自らの				

年間授業計画　新様式例

富士森 高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　外国語　科目 論理表現Ⅰ

教　科：外国語　　科　目：論理表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

使用教科書：（ be Clear Logic and Expression Ⅰ (三省堂)　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝えあったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目　論理表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英文法を理解し、適切に使用し、自らの作りたい英文を作成することができる	・自らの意見を、学習した文法を用いて表現することができる ・学習した文法を活用して、会話や文章の状況を理解・推測して判断することができる	・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・基本時制を活用し、自らの意見や過去の出来事・未来への展望を表現することができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する		○	○	○		○	意見を表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	2
1学期	Lesson4 Travel Lesson5 Study and Activities. 【知識及び技能】 ・完了・経験・継続を表す完了形を理解するとともに、完了を用いて過去の経験や継続中の動作・出来事などを表現することができる。 ・完了進行形とそれ以外の時制との違いを理解し、今まで継続している動作や状態について表現することができる。 ・大過去の概念を理解し、適切に表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在完了・完了進行形を活用し、自らの経験や継続している動作・状態を表現することができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようと	・指導事項：現在過去完了・完了進行形 ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①現在完了形が過去の経験・今まで継続している状態・完了している事象を説明するもの、過去完了形がその時間軸が過去にずれたものだと理解し、文章を作成することができる。 ②完了進行形と完了形・進行形の違いを理解し、文章を作成することができる。 ③大過去を意識して適切に使用して文章を作成している。 【思考・判断・表現】 ①自らの経験や、今まで継続している動作・状態を表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	3
	Lesson6 Food and Culture Lesson7 School Life Lesson8 Daily Life 【知識及び技能】 ・助動詞の意味を覚え、適切に助動詞を用いて、感情、意見、判断、事実などを適切に表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・助動詞を適切に用いて、可能性、確信、感情、義務などを含めて食文化や学校生活について表現したり、そのような表現を理解できる。 ・依頼、受け入れ、断り等を理解でき、表現できる ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢	・指導事項：助動詞 ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①助動詞の意味と運用方法を理解し、文章を作成することができる。 ②助動詞の意味と運用方法を理解し、相手の意図を理解し、応答できる。 【思考・判断・表現】 ①自らの感情、意見、判断を相手に伝えられる表現をしている。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○			○		○	○		1

年間授業計画　新様式例

富士森 高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　外国語　科目 論理表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

使用教科書：（ be Clear Logic and Expression Ⅰ (三省堂)　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝えあったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目　論理表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英文法を理解し、適切に使用し、自らの作りたい英文を作成することができる	・自らの意見を、学習した文法を用いて表現することができる ・学習した文法を活用して、会話や文章の状況を理解・推測して判断することができる	・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	Lesson10 Future Activity Lesson11 Staying Healthy Lesson12 New Products 【知識及び技能】 ・同じ見た目だが、それぞれ役割の異なる不定詞を理解するとともに、不定詞を用いてより具体的な英文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不定詞を活用し、将来のこと、目的、原因、人の行動の関与や見聞きを表現をすることができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する	・指導事項：不定詞 ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①不定詞の用法ごとの違いを理解し、それぞれを生かて正確に用いて文章を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ①不定詞を用いて自らの夢や行動の目的を表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	4
	Lesson13　Hobbies and Interests 【知識及び技能】 ・動名詞を用いてより具体的な英文を作成することができる。 ・不定詞名詞用法との使い分けができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動名詞を活用し、動詞を名詞化して主語や目的語として使い、趣味や興味を表現することができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する	・指導事項：動名詞 ・教材：教科書・ワークシート ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①動名詞の役割、不定詞名詞用法との使い分けを理解し、それぞれで文章を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ①動名詞を用いて自らのあるいは他者の趣味興味を表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	2
	Lesson14 The World of Nature Lesson15 Trouble and accidents 【知識及び技能】 ・分詞の限定用法とSVOC用法を理解するとともに、分詞を適切に用いてより具体的な英文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・分詞を活用し、人の行動や自然について表現することができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する	・指導事項：分詞 ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①分詞の性質と用法ごとの違いを理解し、それぞれで文章を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ①分詞を用いて事実を正確に、あるいは他者の行動等を表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○			○		○	○		1

年間授業計画　新様式例

富士森 高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　外国語　　科目　論理表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　　8 組

使用教科書：（ be Clear Logic and Expression Ⅰ (三省堂)　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】　外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝えあったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目　論理表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英文法を理解し、適切に使用し、自らの作りたい英文を作成することができる	・自らの意見を、学習した文法を用いて表現することができる ・学習した文法を活用して、会話や文章の状況を理解・推測して判断することができる	・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話［や］	話［発］	書					
				○			○		○	○		1

年間授業計画　新様式例

富士森 高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　外国語　科目 論理表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

使用教科書：（ be Clear Logic and Expression Ⅰ (三省堂)　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝えあったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目　論理表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英文法を理解し、適切に使用し、自らの作りたい英文を作成することができる	・自らの意見を、学習した文法を用いて表現することができる ・学習した文法を活用して、会話や文章の状況を理解・推測して判断することができる	・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	Lesson16 Inventions 【知識及び技能】 ・２文を１文にまとめ名詞を修飾する関係代名詞を理解するとともに、関係代名詞を用いてより具体的な英文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係代名詞を活用し、名詞をより具体的に表現することができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する	・指導事項：関係代名詞 ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①関係代名詞を理解し、効果的に使用して文章を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ①関係代名詞を用いて名詞をより具体的に表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	4
	Lesson17 Cities and Towns! 【知識及び技能】 ・関係副詞を理解するとともに、関係副詞を用いてより具体的な英文を作成することができる。 ・それまでに習った全ての形容詞文法を確認し、適切かつ正確な運用ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な関係詞を活用し、名詞をより具体的、効果的に表現することができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する	・指導事項：関係副詞 ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①関係副詞を理解し、文章を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ①関係副詞を用いて名詞をより具体的に表現している。 ②様々な形容詞文法を用いて、より緻密で豊かに自分の考えを表現する。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○			○		○	○		1

年間授業計画　新様式例

富士森 高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　外国語　　科目　論理表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

使用教科書：（ be Clear Logic and Expression Ⅰ(三省堂)　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝えあったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目　論理表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英文法を理解し、適切に使用し、自らの作りたい英文を作成することができる	・自らの意見を、学習した文法を用いて表現することができる ・学習した文法を活用して、会話や文章の状況を理解・推測して判断することができる	・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	Lesson18 Living Environment Lesson19 Social Problems 【知識及び技能】 ・異なる二つ以上のものを比べる比較を理解するとともに、比較を用いてより具体的な英文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較を活用し、２つ以上のものの対比関係や序列を表現することができる。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する	・指導事項：比較 ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 比較の原級・比較級・最上級を理解し、それぞれで文章を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ①比較を用いて２つ以上のものの対比関係や序列を表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	5
	Lesson 20 【知識及び技能】 ・現実的ではない仮定の話をする際に用いる仮定法を理解するとともに、仮定法を用いてより具体的な英文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮定法を用いて創造、願望、仮定の話を表現している。 ・絵を見たり、文章を見聞きして、内容を推測したり理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する	・指導事項：仮定法 ・教材：教科書・ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①仮定法の考え方を理解し、様々な基本表現を用いて意図していることを表現できる。 【思考・判断・表現】 ①仮定法を用いて創造、願望、仮定の話を表現している。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	4

年間授業計画　新様式例

富士森 高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　外国語　　科目　論理表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

使用教科書：（ be Clear Logic and Expression Ⅰ (三省堂)　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり、伝えあったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目　論理表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英文法を理解し、適切に使用し、自らの作りたい英文を作成することができる	・自らの意見を、学習した文法を用いて表現することができる ・学習した文法を活用して、会話や文章の状況を理解・推測して判断することができる	・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話［や］	話［発］	書					
	Supplement①② 【知識及び技能】 ①that,wether,ifなど名詞節の作り方と役割を理解し、正確に運用する。 ②様々な否定表現を理解し、基本的なものを運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①必要に応じて長い名詞節や特殊構文に習熟し、相手の意図をりかいしたり、自分の意図を伝えられる。 ②他の接続詞や関係詞と区別して運用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に英語を用いる姿勢を有している。 ・相手に英語で自己を説明しようとする意志がある。また、相手の自己紹介も聞きとり理解・共有する姿勢を有する	・指導事項：名詞節、否定構文等 ・教材：ワークブック ・一人１台端末の活用　等	○	○	○		○	【知識・技能】 ①that,wether,ifなど名詞節の作り方と役割を理解し、正しく使用できる。 ②様々な否定表現を用いた基本的な文を理解したり、書くことができる。 【思考・判断・表現】 ①長い名詞節や構文を適切に用いて表現できる。 ②絵や文章から内容を推測・理解して、問題に適切に回答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①英語を用いて説明や意見を主体的に表現しようとしている。 ②相手の意見を積極的・主体的に聞き取り、理解しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○			○		○	○		合計 52